



写真家による講評及び講演



放置されてしまった畑を
人気の撮影スポットに



地元が誇る賞品の特産品プレミアムギフト

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

ふらの東山エリア農村景観を守る会ーふらの東山エリアフォトコンテスト実行委員会 【富良野市】

かけがえのない風景が東山（ここ）にある

【はじめは？】

過疎化している富良野の中の「東山」エリアの活性化と、観光客・移住者・関係人口の創出、“かけがえのない風景が東山（ここ）にある”をテーマに地元の魅力の再発見を目的に、2015年に地域おこし協力隊による企画立案、“自分の住んでいるところが好き”という地元住民との連携により、“新しい動きを自分たちで作って行こう”という理念のもと団体を立ち上げ、2016年にフォトコンテストをスタートしました。

【おもな活動】

北海道富良野市の東山エリアの魅力写真を写真で伝えることを目的に、地元住民による団体を立ち上げ、2016年よりフォトコンテストを開催しています。

自然豊かな東山の四季や農業の姿など、観光客はもちろん地元の方にも再発見してもらい、多くの方にこの地域の素晴らしさや魅力を伝える為の様々な活動を行っています。

耕作放棄地にひまわり畑を作り、撮影スポットにしたり、地元保育所・学校と連携し地域の昔の話や魅力を伝え、独自の中学生の授業の取組として、写真家の先生を招き、毎年写真授業を行っています。



写真家による中学生への写真講座

【ここが自慢】

経済的な効果としては、地域の直売場・飲食店への集客と地域経済の活性化であり、札幌のチカホや、観光・商業施設での写真展示、農作物のPRのほか、オリジナルカレンダーの配布や作成したDVDによる都内スーパーでの放映などにより、地元の農作物の販売の促進に役立っています。そのほか、各企業への写真提供により、札幌のホテルでのPR資料やJAふらの東山ブランド「やまとうメロン」パンフレット・観光地写真切手の作成などに利用されるなど、売上の増加に繋がっています。

活動の実績を重ねる中で、地域の農業者・観光団体・行政・一般企業から理解が得られ、主要事業であるフォトコンテストの表彰式には、多くの企業の協賛をいただけるようになり、富良野市の各地域の意識調査では、東山フォトコンテストの知名度は上位で、年々高くなってきています。

数々のフォトコンの審査をされている菊地晴夫氏によると、この狭い地域のみでのフォトコンテストに対して、大変応募数が多いと賞賛をいただいています。

連絡先

代表者名：石山 廣喜さん／設立：2015年／会員：7名

住所：北海道富良野市東山5082 どんぐり舎内

電話番号：080-4043-2438

F A X :

E-mail：furanophotocon@gmail.com

U R L : <https://www.biei.org/furano-higashiyama-photocon/>